

市民タイムス少年サッカー新人戦

岡谷東部がV

南松本と
開智3位

第十九回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミグループ協賛は、十一月一日、松本平広域公園総合球技場・アルウィンで行われた。準々決勝以上の7試合が行われた。6チームが臨んだ中信勢は決勝には進めなかったも

の、南松本と開智がともに3位と健闘した。決勝は岡谷東部が5-0で昭和(長野市)を下し、六年ぶり二回目の優勝を飾った。

では、前線の走力がある選手に早めにボールを送った岡谷東部と、巧みなボールコントロールを見せてドリブルで積極的に仕掛けた昭和が、それぞれ疲労をのぞかせながら閉会式では、ベスト4に残った全選手にメダルを贈ってトーナメントを戦い抜いた頑張りたたえた。大会長の新保力市の飛躍に期待を込めた。



▽得点者【岡】征矢、山口2、林柊、上原

【評】岡谷東部は積極的に縦を突いて優位に立ち、5分にFW征矢が先制点を挙げるなど前半で2点をリード。後半は足が止まった相手を押し込み、林柊、山口の左右MFが続けて決め、終了間際に縦パスで抜け出したFW上原がGKをかわしてダメ押しした。昭和は疲れから動きに緩急の変化が乏しい上に攻撃が中央に偏りがちで、相手守備を崩すに至らなかった。

市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ2日目は、実力伯仲の試合が相次いだ(開智-昭和)と成長することを願って

【関連記事14面】

▽決勝(アルウィン) 岡谷東部 5(2-0)0 昭和 3(0-0)0